



平成 27 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社 京 写  
代表者名 代表取締役社長 児嶋 一登  
(コード番号 6837)  
問合せ先 執行役員管理本部長 平岡 俊也  
(TEL. 075-631-3193)

## 京都大学との共同研究契約締結のお知らせ

当社は、国立大学法人京都大学との共同研究契約を本日締結しましたのでお知らせします。本契約は、当社と梅野健教授（京都大学大学院情報学研究科）の研究室との新しい産業用無線通信技術の共同開発に関するものです。

### 記

#### 1. 契約締結の経緯及び概要

当社は、エレクトロニクス分野のプリント配線板及び実装関連事業を主力としており、特に片面プリント配線板の分野においては、いち早くグローバル展開を行ったことで高いシェアを有しています。近年では、産学連携で市場ニーズに沿ったプリント配線板の技術開発を強化してきましたが、プリント配線板以外のエレクトロニクス分野におきましても顧客の課題解決を目指し、大学と共同して新技術の活用を検討してきました。

今回の京都大学との共同研究は、当社の多数の取引先の課題や要望を基に、新しい無線通信技術のカオスCDMAの産業利用化を目的としています。この無線通信技術は有線通信と同等の性能を持ち、併せてセキュリティ上重要な機密性も非常に高い無線技術で、この技術の実用化が実現した場合、これまで有線通信が前提であった製品の無線化が可能となることなどから、コストダウンや利便性の向上などが図られ、通信分野での利用の他、センサー等の様々な用途への利用や製品への展開が考えられ、新しい市場やニーズの開拓に貢献できるものと考えております。

梅野健教授は、京都大学大学院情報学研究科数理工学専攻で、物理統計学を専門分野とし、可解カオス、カオス符号等のカオス理論を利用した有線・無線の通信ネットワーク、IoT(Internet of Things)や次世代通信の第5世代移動通信システム(5G)にも利用可能な、全く新しい通信方式の研究開発を行っています。特に、カオス理論を用い開発した通信技術のカオスCDMA(Code Division Multiple Access)は、非常に高い通信安定性と高速通信、限られた周波数帯域で、多数の端末の同時アクセスを可能にする周波数共有技術です。

#### 2. 今後の見通し

本件による当社の平成28年3月期連結業績に与える影響はありません。

以上